

本部報告

山梨大学工学部の現状と改組・再編

山梨工業会 神奈川支部総会

平成24年6月23日(土)

山梨大学 大学院 医学高額総合研究部

(工学部 コンピュータ理工学部)

渡辺 喜道(S61計科、S63計科修)

(山梨工業会 常務理事)

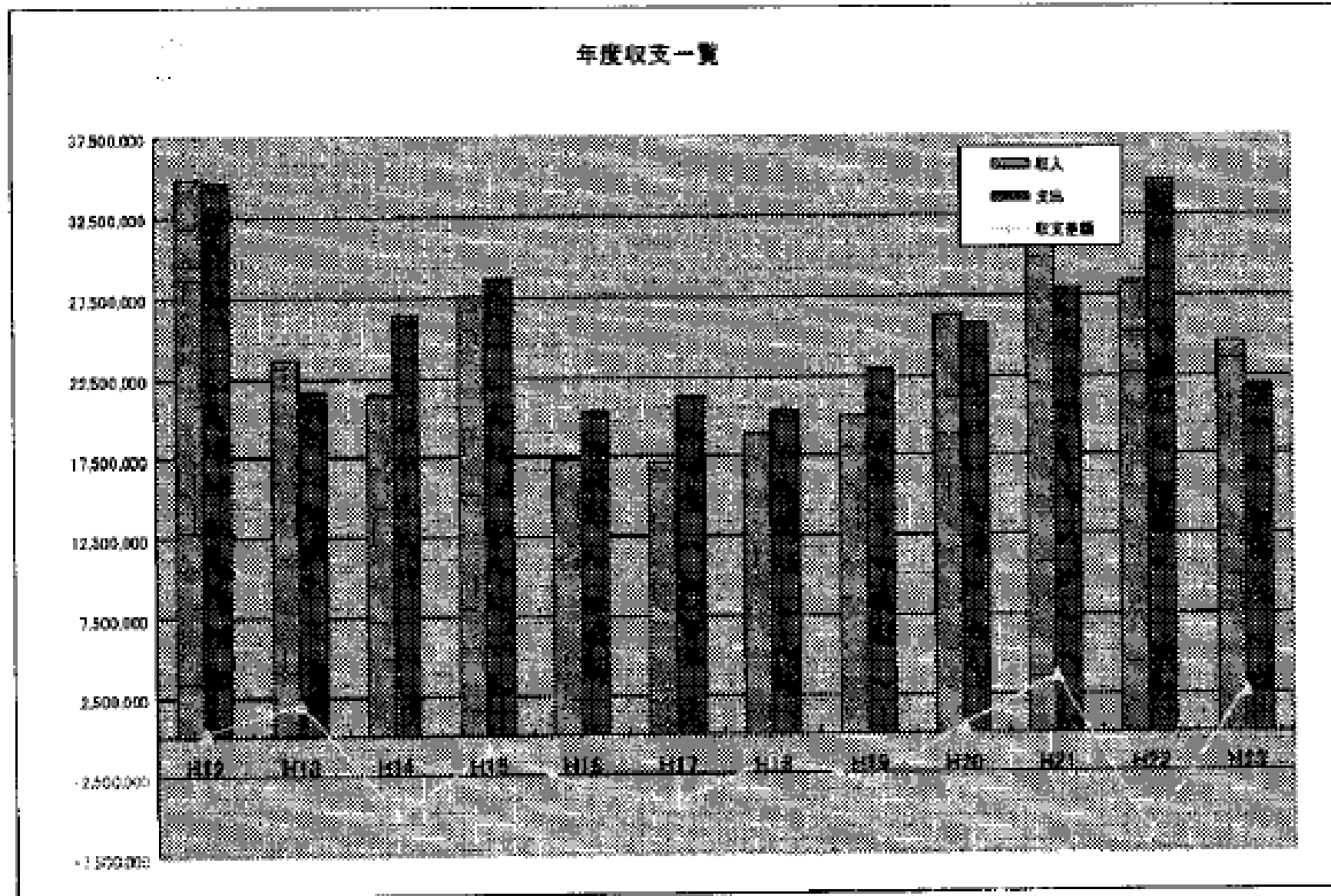
山梨工業会の現状

● 既存会員の状況

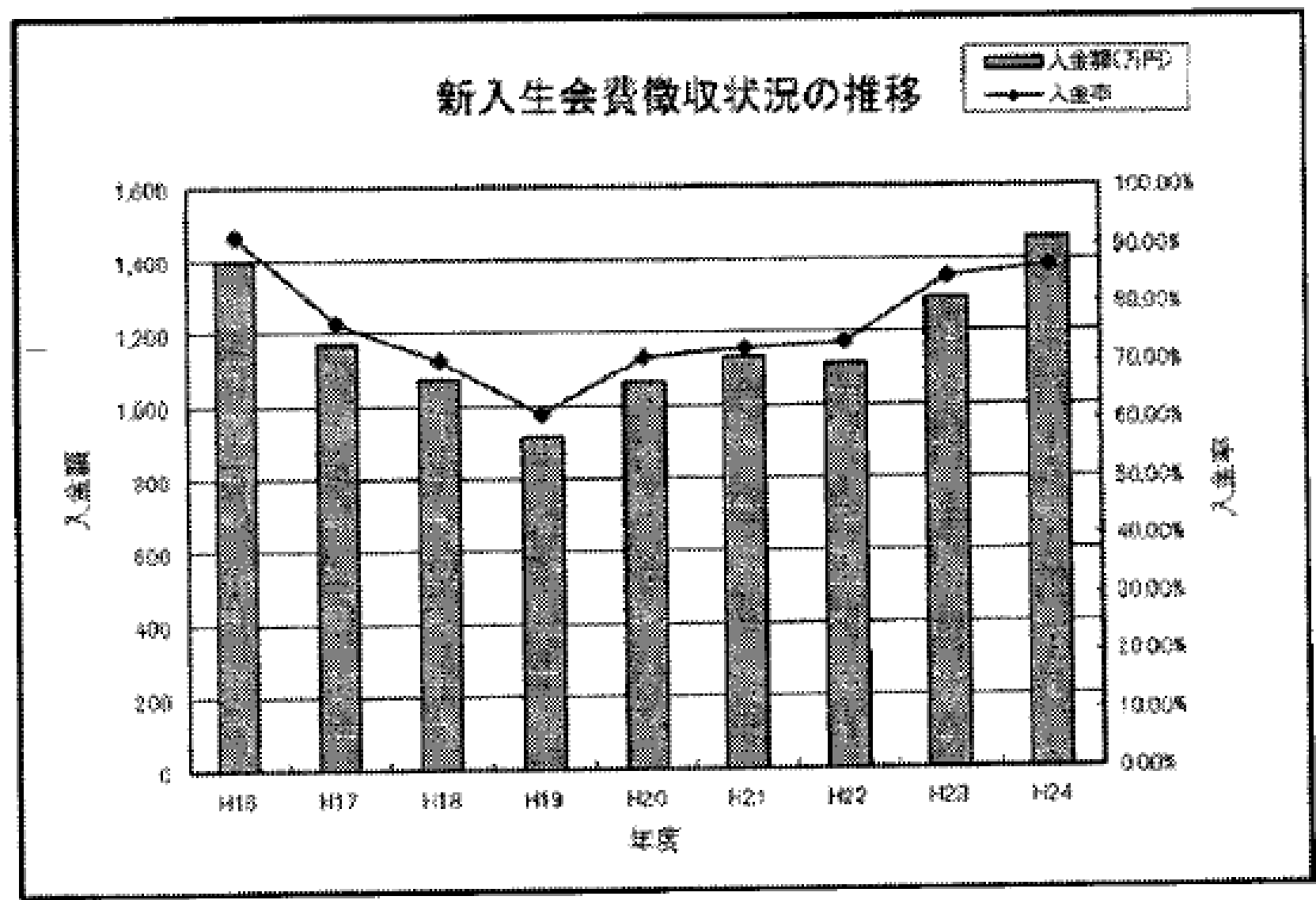
- 支部別会員数(該当支部に在住あるいは在勤の会員、
会員総数22,438人)

支部名	会員数	支部名	会員数	支部名	会員数	支部名	会員数
北海道	115	東京	4,438	静岡県	2,369	徳島	80
茨城	415	神奈川	2,459	東海	3,003	九州	300
栃木	286	北陸	413	関西	1,718	沖縄	61
群馬	240	新潟	164	岡山	175		
埼玉	928	山梨	5,577	西中国	333		
千葉	953	長野(4支部)	1,492	香川	111		

山梨工業会の現状



山梨工業会の現状



入会率は85%に向上、生命環境学部の増加分55名を含む。

山梨工業会の主な事業(1)

- 工業会のWebサイト
 - 名簿の電子化
 - 充実
 - 会員検索, フォトギャラリー, 求人・求職情報
- 工学部との連携事業
 - 奨学金制度の導入検討
 - プロジェクトY
 - 企業合同説明会
 - 工学部活性化委員会
- ホームカミングデイ(home coming day)
 - 11月3日(大学祭)

山梨工業会の主な事業(2)

- その他
 - 山梨工業会奨励賞の授与
 - 英会話教室の開催
 - 海外渡航費助成
 - ワイン等の販売

定款の変更

- 生命環境学部の包含
- 中途退学者の会員資格の追加
- 法令順守
 - － 法人の公告を電子公告とする。
- 将来の非営利法人認定のための追加

工学部再編と生命環境学部の新設(2012年4月)

2012年以前

- 機械システム工学科(90)
○機械デザインコース
○機械情報コース
- 電気電子システム工学科(70)
○情報エレクトロニクスコース
○情報通信システムコース
- コンピュータ・メディア工学科(75)
○コンピュータサイエンスコース
○情報メディアコース
- 土木環境工学科(75)
○建設設計コース
○環境共生コース
- 応用化学科(50)
- クリーンエネルギー特別教育プログラム(5)
- 生命工学科(35)
- 循環システム工学科(45)
- ワイン科学特別教育プログラム(5)

新工学部と生命環境学部(定員)

- 機械工学科(55)
機械力学・機械制御、熱・流動、設計・生産
- 電気電子工学科(55)
電子デバイス、情報通信、電気エネルギー
- コンピュータ理工学科(55)
計算機科学、ソフトウェア工学、CG、感性知性
- 情報メカトロニクス工学科(55)
機械電気情報技術の統合、ロボット設計・制御
- 土木環境工学科(55)
建設・設計、水資源、防災、都市計画、環境共生
- 応用化学科(55)
有機及び無機新素材、クリーンエネルギー
- 先端材料理工学科(35)
物理、半導体・結晶材料、エネルギー変換
- 生命環境学部(130)
工学部より(75)、教育人間科学部より(55)



生命環境学部

- 基本理念
 - 自然と共生可能な豊かな地域社会の創生
- 学科
 - 自然科学系
 - 生命工学科(定員35人)
 - 地域食物科学科(定員30人:ワイン科学特別コース6人を含む)
 - 環境科学科(定員30人)
 - 社会科学系
 - 地域社会システム学科(定員35人)
- 学科定員合計130名

キャッチフレーズ

山梨大学のキャッチフレーズ

「地域の中核，世界の人材」

- 地域における高等教育の中核である。
- 豊かな人材育成の先駆的な役割を演じる。
- 幅広い教育・研究を通じて身につけた豊かな教養と人間性・学識は、いずれ「世界の人材」の根幹となっていく。

工学部のキャッチフレーズ

「未来世代を思いやるエンジニアリング教育」

山梨大学の役員

- 学長

- 前田秀一郎(医学部系)



- 理事

- 新藤久和[学術研究・産学官連携・「グローバル人材育成」担当](情報工学系)
- 川村隆明[教学・国際交流担当](教育人間科学部系)
- 佐藤 悠[財務・医療・施設担当](医学部系)
- 栗山雅秀[総務・労務・情報管理担当](官僚系)
- 田中正男[企画・評価・「国際・大学知財本部コンソーシアム」担当]

- 監事

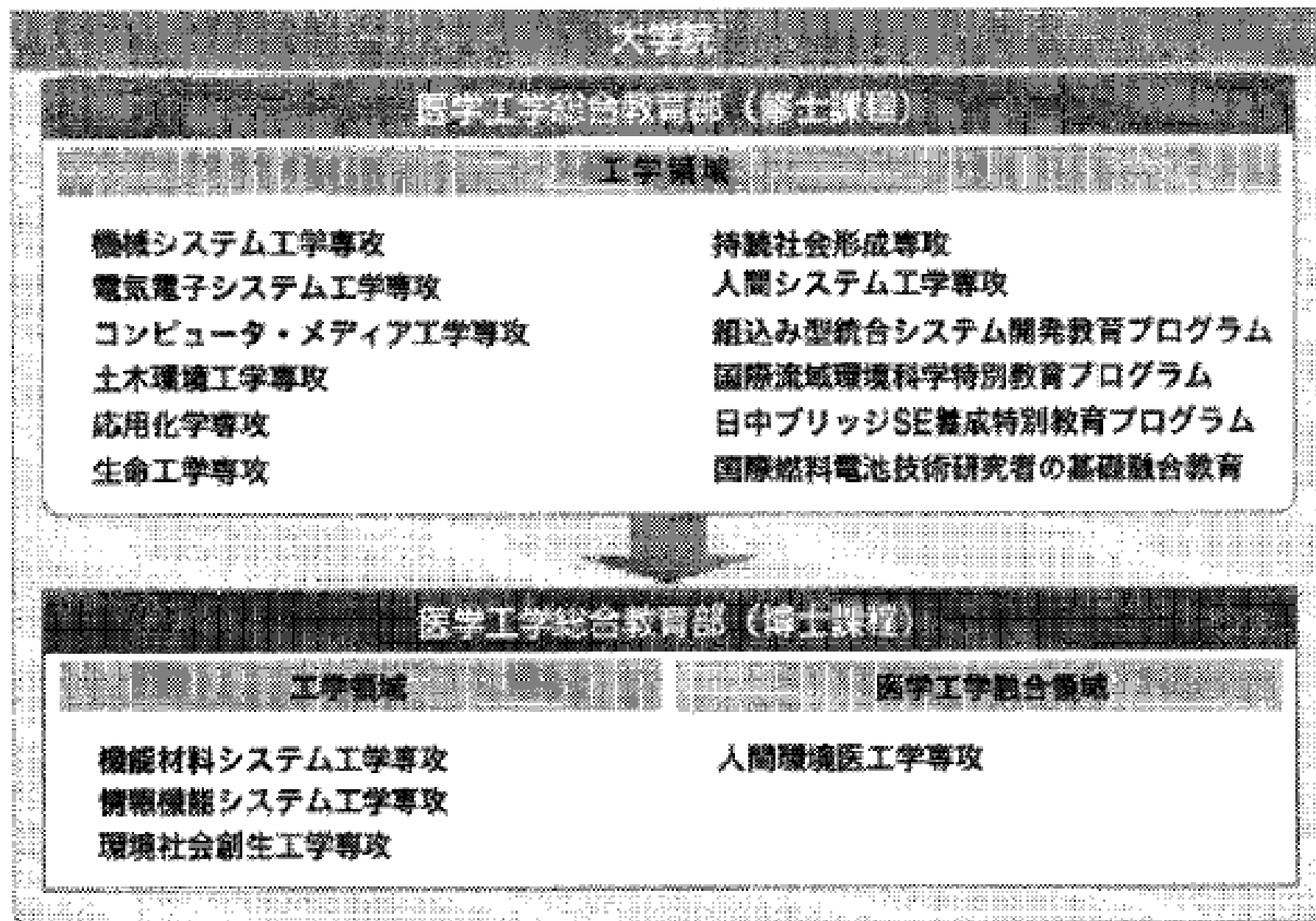
- 木村富司雄
- 古井 明男(非常勤)

工学部の体制

- 工学部長
 - － 豊木博泰(社会システム系)

- 評議員
 - － 杉山俊幸(土木環境系)
 - 教育委員会担当
 - － 藤間一美(電気電子系)
 - 学生委員会担当
 - 予算委員会担当
 - 研究推進委員会担当





工学部入試の近年の主な変更点

- 2008年度入試から、名古屋において前期日程試験を実施
- 2009年度入試から、前期日程において、循環システム工学科を除く6学科で第2志望制度を導入
- 2009年度入試から、推薦入試において、機械工学科、電気電子工学科で地域産業リーダー養成特別枠(地域枠)を実施
 - 2010年度から、コンピュータ理工学科、応用化学科でも実施
- 2013年度入試から、東京(新宿)において前期日程試験を実施予定

学部教育

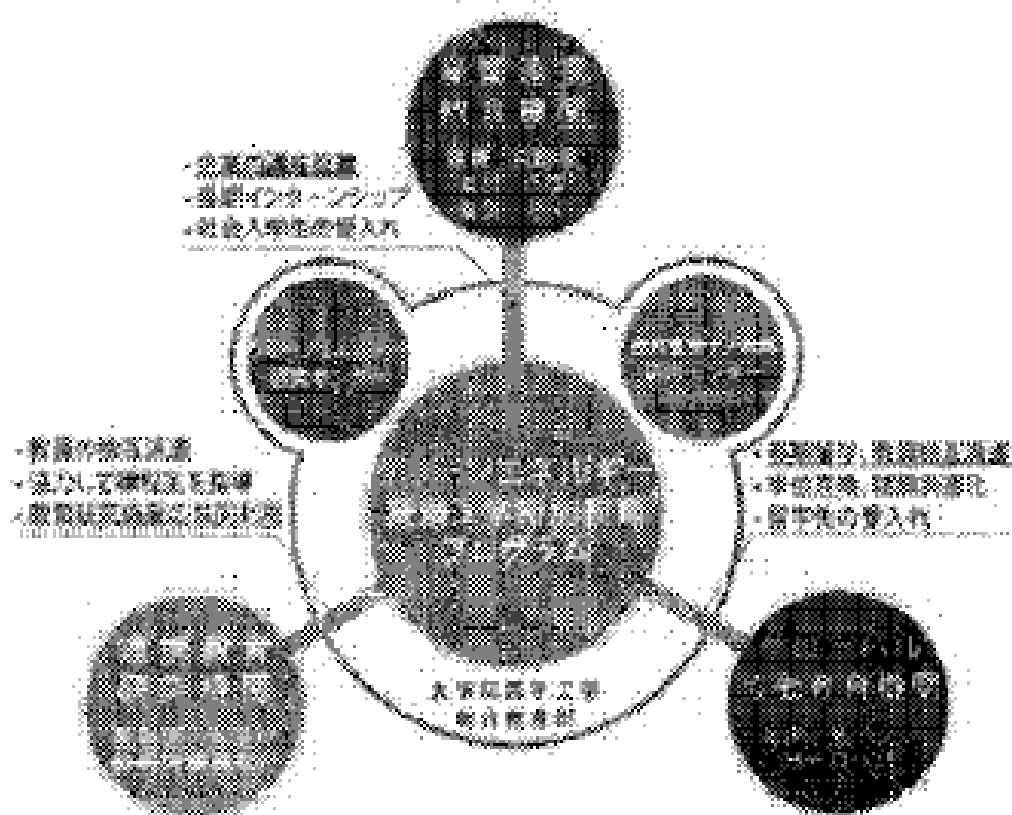
- ① クリーンエネルギー特別教育プログラム
- ② ワイン科学特別教育プログラム
- ③ 地域産業リーダー養成特別教育プログラム
- ④ 理数学生応援プロジェクト：「統合能力型高度技術者養成プロジェクト ―自発リーダー(学大将)を生む環境作り―」

大学院教育

- ① 科学技術振興調整費：ワイン人材生涯養成拠点
(ワイン科学コース)
- ② 組込み型統合システム開発教育プログラム
- ③ 人間システム工学専攻の新設(2009年)
- ④ コンピュータ・メディア工学専攻：日中ブリッジSE養成特別教育プログラム
- ⑤ 国際流域環境科学特別教育プログラム
- ⑥ 大学院教育改革支援プログラム：燃料電池技術研究者の基礎実学融合人材育成(2010年まで)
 - 燃料電池ナノ材料研究センター(7年間で70数億円)
 - NEDO HiPer-FC プロジェクト等を推進

博士課程教育リーディングプログラム

- 文部科学省の平成23年度博士課程教育リーディングプログラム
 - グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム(定員15名)
 - 産業界・国内外研究教育機関との連携による基礎・実学融合教育の展開



研究プロジェクト

【研究プロジェクト等】

- ①グローバルCOEプログラム：アジア域での流域総合水管理研究教育の展開(2008年～2012年)
 - ②国際流域環境研究センターの設置(2007年)
 - ③平成21(2009)年度科学技術振興調整費：先端領域若手研究リーダー育成拠点(テニユアトラック).
- 事業規模は、5年間で約8億円.